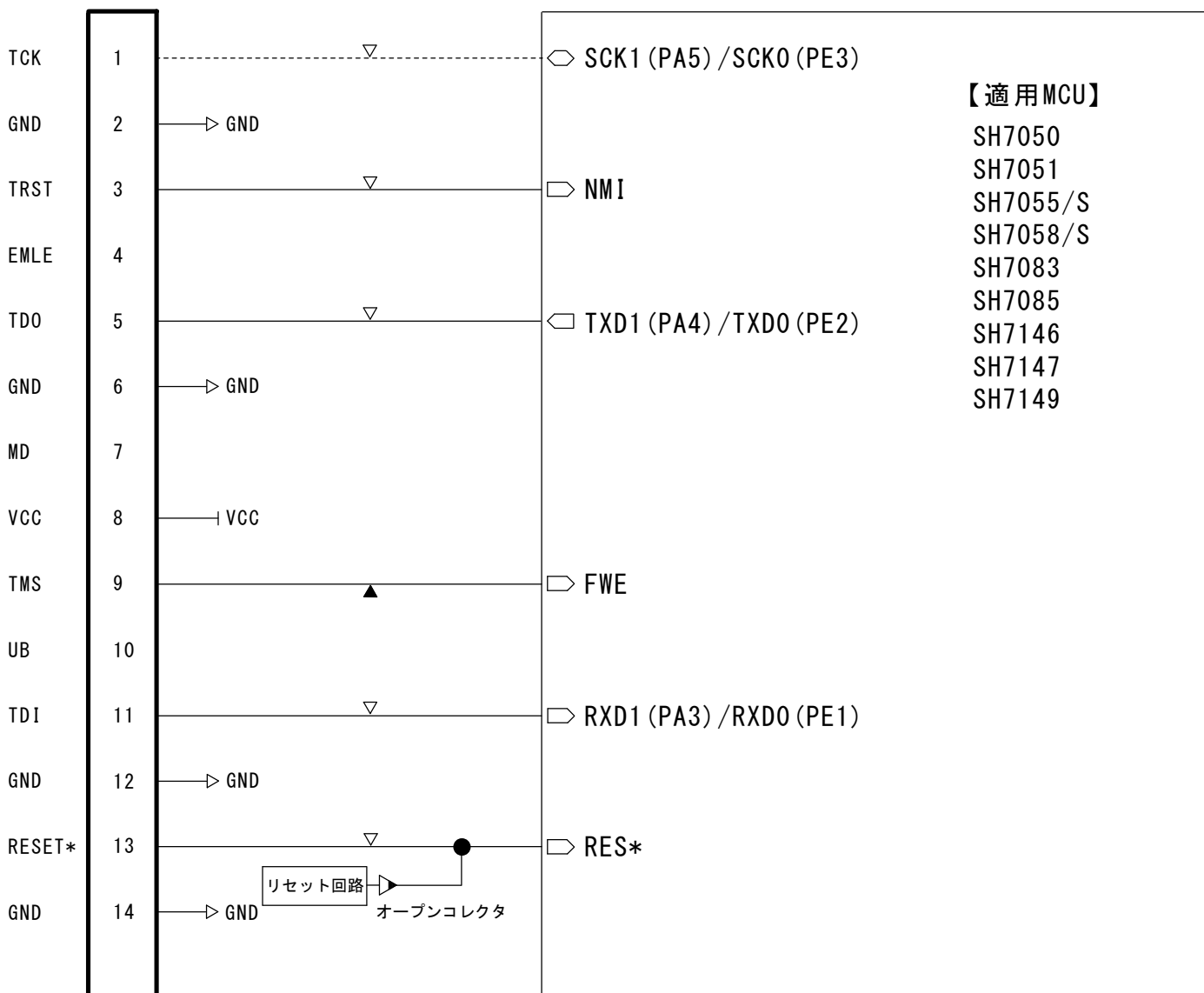


【接続例22】 SH7050, 51, 55/S, 58/S, 83, 85, 7146, 47, 49の場合(ブート接続)

AH8000接続コネクタ ユーザシステム



- 1) ▽印はプルアップ抵抗です。▲印はプルダウン抵抗です。抵抗値は4.7K~22Kの範囲を推奨します。
- 2) リセット回路の遅延時間は200msec以下になるようにハード設計をしてください。
- 3) CPU動作モード(ブート・実動作)設定回路は、ユーザー(ターゲット)側で用意して下さい。
- 4) CPU設定でターゲットI/Fを調歩同期/クロック同期の選択ができます。
 調歩同期側に選択した場合は、SCKを開放にして下さい。
- 5) ブートポート経由でモニタ書き込みが可能なシステムであればCPU設定によりポートを変更することができます。
 (SH7147の場合のみ変更可能です。)
- 6) 未使用ピンは、どこにも接続せず開放にして下さい。